

京師けいしにて家書かしょを得えたり

袁えん

凱がい

江水こうすい 三千里さんぜんり

家書かしょ 十五行じゅうごぎょう

行行別語ぎぎょうべつご 無なく

只道ただ 早はやく 郷きょうに 帰かえれと

【作者】袁凱（生没不詳）…明朝初期詩の第一人者。字は景文。袁白燕と称される。華亭（現・上海市松江）の人。

洪武三年（一三七〇年）に御史に任じられ、活躍する。

【語釈】*京師…みやこ。 *家書…家よりの手紙。故郷からの便り。

*江水…川の流れ。長江の流れ。

*三千里…遙かな距離をいう。故郷のあるところとの距離をいう。

*別語…その外のことば。「帰郷せよ」と言う以外のことば。

【通釈】 都で、故郷からの便りを手に入れた。

川の流れの遙かなところに故郷があり。遙かなところからわざわざ来たのに手紙文は、たった十五行だけの簡潔なものである。どの行（ぎぎょう）にも、外（ほか）のことは載っていない。ただただ、早く還ってこいとのみ言っている。